山口県支部 with コロナ総会開催

11 月 20 日支部総会が山口市湯田温泉「ホテル喜良久」で開催され,猛威を振るったコロナ禍も嘘のように陰を潜め、澄みきった秋晴れも華を添えました。
本部より小澤先生、磯海事務長をお迎えして、先端材料研究現場の説明や大学の近況説明を受けるなど、期待通りの充実した内容となり、予定時間もあっという間に過ぎ、計画した校歌・逍遙歌の独唱は未了のまま、マドンナ副支部長森田さんの一本締めで散会となりました。

注目の感染防止対策としては、検温、手洗い、マスク、パーティッション設置、3 密防止など一連の防止対策を行い、事後評価でもほぼ合格点だと思います。来年 6 月に予定される中国四国大会も、今回の総会運営を参考に、盛大且つ、安全安心をモットーに準備を進めたいと思っています。鬱陶しいコロナ禍に止めを刺す大会になれば誠に素晴らしいことですが、やはり海外の第 6 波の猛威と新株の拡散動向が不安材料です。



於：2021 年 11 月 20 日　湯田温泉　ホテル　喜良久

今回の総会で触れた課題

1. 支部組織活性化には総会内容の充実が必要で、そのため本部との連携を強化し、適宜、大学情報や研究内容等の紹介を受ける。また、支部内の貴重な経験談を発掘し、これらも適宜発表してもらうことで会の魅力造りに努力する事。
2. この 2 年間はコロナ禍で多くの支部で活動に支障が出ているが、ウイズコロナ総会を一般化し、出来るだけ早く、特に新加入同窓仲間に総会案内を届け、支部同窓会が機能していることを認識いただく事。
3. ブロック大会の重要性と課題（総会では触れていない内容も含む）

ブロック大会は支部活動活性化に深く関わっており、支部行事の中でも重要な位置づけで、特に派遣人数、人選、旅程等の計画過程等が組織連帯に役立っている。一般的な総会 3 点セット審議だけではマンネリ化に陥りがちな支部活動に新たな風を吹き込む必要がある。

しかし実際には、ブロック大会参加上の困難もある。ここ中国四国ブロックは東西南北の移動距離が長い、特にコロナ禍で交通便宜も減ってきており、例えば山口市で開催する場合、鳥取、高知等遠方からの参加者は交通費の負担や場合によっては前後泊を強いられる可能性がある。

同窓会本部の支部支援に感謝し、支部はこれに応える必要がある。ただブロック大会隆盛に関して言えば上記のような問題解決に向け、支援強化すべき部分が残っているのではないかと思う。

来年のブロック大会について

6 月中旬（Go to travel 利用可？）の予定で、準備を進めていきたいと思っています。コロナ禍で 2 年間の延期を余儀なくされたので、今度こそ、多くの来賓や支部会員の参加を頂き、ポストコロナ大会として、盛大に開催できればと期待しております。引き受け支部として本日総会に出席いただいた皆様方は無論、普段から会費納入に協力いただいている方々を含め、支部の総力を挙げ大会を成功に導きたいと思っております。ご協力を宜しくお願いいたします。

（文責　原田）